

議長通信



松山 力弥 議長

誉「ほまれ」

令和元年10月14日(祝)、平松秀一町長をはじめ、私を含む8名の発起人により、前須恵町長「中嶋裕史氏」の叙勲受章祝賀式が盛大に開催されました。

中嶋前町長は、令和元年5月21日、春の叙勲で、旭日小綬章の栄に浴されました。

これは、長年にわたり、地方自治の推進とまちづくりの発展に多大な貢献を果たされ、その功績が称えられたものです。

そのような勲章を、須恵町民の一人として受章されることは、共に歩んできた議会としても、誇りであり、非常にうれしいものです。

この誉には、歩んでこられた華やかに見える道の中に、受賞者の人間性とたゆまぬ努力があってこそのものであり、さらに、それを理解し献身的

に支えてくれた家族の力があってのものだと感じます。

どうか今後も、須恵町の発展と安心安全のまちづくりのため、良きアドバイザーとして、なお一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

地域も町も、苦しい時こそ前に進み、苦しい時こそみんなであう、そこに住み良い町という誉が生まれる。そうありたいと願います。

新任議員 管外視察研修 レポート

須恵町議会では、新任議員が議会活動を進めていくうえで、期待される役割を十分に果たすために必要な知識を身につけることを目的として、新任議員管外視察研修を実施しています。

令和元年11月18日~20日

- ◇全国市町村国際文化研修所(滋賀県) 市町村議会議員特別セミナーを受講
- ◇国会議事堂(東京都)を視察

2040年に向けた自治体の課題と展望

野村総合研究所顧問、増田寛也氏の講演を受けました。各自治体によって、さまざま課題がありますが、増田氏の考えは、若者がその地域を離れていく一つ原因は地方から東京転入化です。とくに、女性が多いという現状が見えると聞きました。地方の人口減少の歯止めには、しがらみと縦並びを壊して、形を作るより伝えるに移す。日本古来よりしがらみを重視し箱の中に無理に入れようとする傾向があると指摘されました。他にも経済的負担の軽減等や誰もが活躍できる地域社会の実現など簡単ではありませんが、そこに魅力ある物と地域しかない情報を発信できればと思います。



白水 春夫 議員

市町村議会議員特別セミナーを受講して

二日間で4つのセミナーを受講しました。地方行政の現状、自然と折り合って生活する豊かさ、公共施設管理の目視に頼らない点検、RPA導入による業務時間の削減、人材育成が大事等、これからの自治体業務の将来像を聞いてきました。考え方の幅が広がりましたし、教養を高めて行きたいと思いました。

三日日は、議員会館から国会議事堂まで直通的な地下道にて移動し、議事堂内を視察しました。委員会も傍聴し、議員としての自覚、責任を感じながらの二時間でした。

今回貴重な体験をさせて頂き、感謝致します。町民皆様の役に立つように「初心忘れるべからず」を信条とし前進します。



男澤 一夫 議員

地域の力とは

市町村議会議員特別セミナーの中で特に印象に残ったのは、元読売新聞東京編集委員の青山彰久氏の「自治・分権の志はどこへ行ったのか」と題して語られた「地域から見た地方創生を定着する」の講演です。その中でも、財政学者の神野直彦氏の言葉を用いて「地域の力は、第一は共生する力がどれだけ強いのか、第二に参加する力がどれだけ強いのか、第三に帰属する力がどれだけ強いのか」と紹介された事でした。

まさに「地域づくりは、人づくり」。このことを心に置いて、町民の皆様に広く深くお伝えし、ご理解頂けるように研鑽してまいりたいと思います。



稲永 辰己 議員

心と心のつながりを

特別セミナーでは、4名の講師による、様々なテーマに沿った講演があり、多角的な視点に立ち、議員活動を行っていくために、参考となる有意義な研修となりました。

中でも「最先端技術で変わる地域と自治体の未来」という講演では、ますます進んでいく人口減少社会において、IoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)の必要性和活用は、非常に興味深いものでした。

しかし、AIでは対応できない「住民との対話力」や「心のケア」など、人の心と心のつながりは、個人としても、議員としても重要であることを感じました。

この有意義な研修で得たものを、今後、町のために一つでも生かしていければと思います。



藤野 正剛 議員

最先端技術で変わる地域

日本総研所長の井熊均氏の講義を受けました。急激に変わる情報社会の中、日立やコマツ等の大手企業は最先端技術が進んでいるも世界の中で日本は、非常に危機的状況にあるほど遅れているとの話でした。

地方でも高齢者を含め、少しでも現代の技術を取り組んでいく必要があるとの事です。近年はパソコン、スマホを使いこなす高齢者も増えています。

今後、防災、教育、介護などサービスが大きく変わり、地方にはより必要な状況になると思われます。

就労時間の削減、町民に対するサービスの向上を図り、もっと住みよい町の構築が進むように私も一躍を担ってまいりたいと思います。



川口 満浩 議員

すまじ未来誌



作・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ、イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <https://polyworks.jp>

議会だよりの音訳もはじめました!

議会だよりの点訳(点訳サークル:ぶどうの会)は以前から行なっていました。213号から、音訳(音訳サークル:ひばり)もはじめました。

今後も、より多くの方に議会だよりを読んでいただけたらと思います。

- 音訳(ICレコーダー)は、議会事務局のほか、社会福祉協議会などでも貸し出しています。
- 点訳された議会だよりは、図書館に置いています。



問い合わせ先
議会事務局 TEL 932-1154
町立図書館 TEL 932-6364

本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

議会を生でしてみよう!



次の定例議会は
3月3日からの予定です。

ホームページで本会議の会議録を公開しています。

須恵町議会 検索

平成23年以降の会議録を掲載しています。ぜひご覧ください。

